



R3 チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

観音寺市立伊吹小学校
全校委員会

伊吹小学校児童は7名です。全校生が協力してフジバカマの栽培をしています。今年は、小・中学校でジオサイト学習に取り組んでいます。植物と昆虫の関係についても調べ始めました。天候不順と夏の暑さでフジバカマの生育がよくないので苦労しました。

目標

伊吹島にアサギマダラをよぼうプロジェクト2021

指標

- ・秋の飛来のためにアサギマダラの好きな「フジバカマ」の栽培を昨年に続いて行う。
(白絹病対策で苗をすべて鉢植えにする。素焼き18鉢、プラスチック20鉢)
- ・秋の飛来60頭を目標に観察、マーキングにも挑戦する。
- ・昨年のスナビキソウの株を増やし、2022年春の飛来を観察したい。

活動の様子

6月22日(月)アサギマダラ飛翔会の方のお世話でフジバカマの苗を38本を鉢に移植。植木鉢は、猛暑や台風の時移動できるので管理がしやすく病気になりにくい。又、今年で4年目のキジョランに6個の実がなり種が採れそうなので秋まで観察することにした。春の飛来が期待できるスナビキソウの株を増やし飛来数を増やすことに挑戦することにした。



4年目のキジョランになった珍しい実



校庭の砂地に植えたスナビキソウ

2016年～2021年の5年間フジバカマを植えてアサギマダラの飛来を観察。毎年10月10日～11月10日頃の約1ヶ月間、秋の日本列島南下途中に伊吹島に飛来する。気温が20度前後でよく晴れた朝8時頃から16時頃までアサギマダラの観察ができる。延べ飛来数240頭前後で、遠くは山梨県都留市、石川県の白山でマーキングされた個体が確認されている。2020年には、約100個の卵をキジョランに確認し、無事5個が成虫になった。今年もキジョランに日よけをして産卵をできるようにし約70個の卵を確認し幼虫になっている。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

今年は、7月は曇りや雨の日が多く、8月には連日の猛暑で水かけが十分できずに枯れてしまう株がでた。そこで、鉢植えの苗を桜の木の下に移動して日差しから守るようにした。キジョランには、二重に日よけシートをかけて日差しから葉を守るようにした。

目標の達成度

原種のフジバカマ鉢植え栽培は成功。木陰にキジョランの苗を植え日よけで日陰を作ったので、4年目でなかなか見ることができない実が6つなった。秋の茎の刈り込みや新しい土を入れることで白絹病を少し押さえられた。秋の飛来は、約240頭のうち9頭にマーキングを行った。